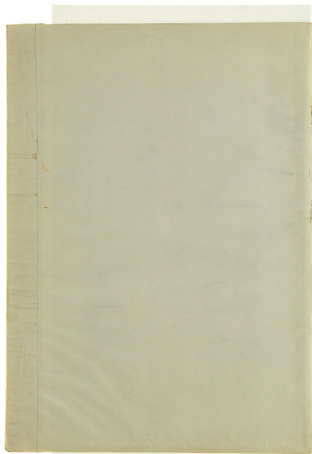




昭和十一年八月二十日

三井鉱山株式会社

社長 原 本 幹 郎

鉱区分譲御願いの件

謹啓

時下三伏の折、貴社と御商売の段、賡々盛極に存じます。

國君 御社御株を御厚顧に謝り、創業以來大進なく今日あるを得ましたことは、偏に御社の賜と深く感謝致しております。

因て、来る昭和十一年十月五日付を以つて御株を引上げました様記の鉱区分譲方御願いの件で御座りますが、其の後程々御返答について御迷惑をおかけ致しておりますこと、誠に恐縮致しております。

東京都中央区銀座七丁目五番地の一

共同石炭株式会社

社長 入 田 太



就きましては、当社におきましても、右の御願い申上げました区域について其の後継々考究を重ねました結果、先般（昭和廿年十月五日付）分譲方御願いの面積が、或は余り大に失したために貴社に御迷惑をおかけしているのではないかと考えられ、且つ又、仄聞する所によりますと、右区域の深部には未だ貴社に於いて一部使用されている杭道或いは築敷のあることを知り得ましたので、種々和附の結果、相當の防水御座を設け、それより上部の区域を測定致しまして再度測分額方の御座頭を得たく、重ねて本願書を以つて願願申上ぐる次第であります。

勿論右の測定致しました区域については詳細な貴社の御事情を存じませず、従つて更に多くの修正を受けることは存じますが、重ねて具陳致し、且つ又別紙添付図にても御了知の如く、前述した当社の事業行を結まきの状態を打開させて置くために、何卒特別の御配慮方を願願申上ぐる次第であります。

分譲を御願い申上げます御座は、杉谷屋、福福屋、御軍八尺屋、土間八尺屋で御座います。別紙添付申上げました御座の敷地面にも記しました通り、断層の褶曲を利用して右各層とも、当方の現在御行致して居ります杭口より簡単に御座御座が出来ますので、幸いにして御配慮を得ることが出来すれば、小生を始り従業員一同まことに幸せに存じます。

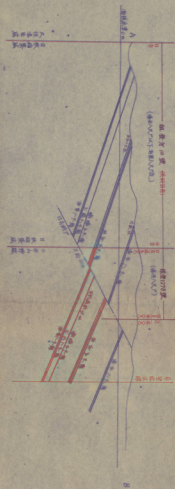
重ね々御願いで、説明の通りで御座います。但し、当社の右事情を御覽下さいまして特別の御配慮を相俟わし度く、御願い申上げます。

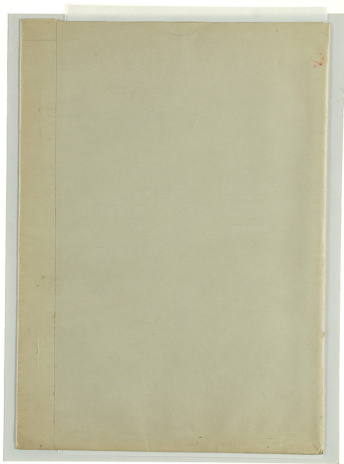
敬 具

鑛區分讓希望區域圖在中、

鉦區分讓希望區域圖 縮尺六千分，一

A~B 裁断面図





第 四 章

昭和32年1月23日

三井鉱山株式会社山形鉱業所

所長 湯 浅 繁 吉 殿

共同石炭鉱業株式会社日吉鉱業所

所長 宇 佐 見 殿

鉱区分割御願いの件

開 啓

時下貴所の副 御社益々開採神之段慶賀重慶に存じます。

茲て昭和31年8月20日付弊社より鉱区分割の御願いを申上げました区域につきまして、其の後着し御許可の榮を賜りました上は如何ように開発するかにつき、貴方に於いて調査研究を進め次のような開発計画を立案致しました。

何分にも御社の詳細な御事情を存じませず、従つて弊社の勝手な計画となり、御社の御批判を受けることと存じますが、次にその開発計画の概要を申述べるせて致します。

1 杉谷層関係の開発計画概要

杉谷層は別紙図示の現在日吉鉱業所で採行中の杉谷五尺卸を

延長しますと直ちに御社の敷区内に入ります。

この断層部の区域は着手後4ヶ月で2000 $\frac{\text{kg}}{\text{m}^2}$ の出現可能であります。

その後は、杉谷右新脚を別箇の如く設定し、断層部の区域を20ヶ月の予定で開発し2500 $\frac{\text{kg}}{\text{m}^2}$ の出現計画であります。

以上の開発に併行して現在竹新坑新脚気鉋を主要運搬鉋に切替へ、該鉋より左部の水平掘入坑道によつて杉谷右新脚を設定すると同時に、別に図示の如く排気掘坑を地表より新に開鑿し、掘坑の深度40mの位置より排気新坑道として前記杉谷鉋に連絡し縦排気掘坑とします。

此の工事は24ヶ月で完成の上杉谷右新脚とも連絡し、その後の杉谷層の出現は竹新坑へ運搬を切替へます。

2 海軍八尺層関係の開発計画概要

この計画は、幅幅五尺層、土間八尺層、海軍八尺層の採掘計画で、海軍八尺層に主要移卸坑道を設定し、各曲片の掘入坑道によつて上部の二炭層（土間、幅幅）の採掘を実施します。

主要移卸坑道は、杉谷五尺鉋を利用し、断層を切つて海軍八尺層に掘貫し、それより新脚を設定して該地区より1500 $\frac{\text{kg}}{\text{m}^2}$ の出現予定であり、着手後1ヶ月で出現可能であります。

それより右水平坑道を設け前記排気掘坑、および排気新坑道

と連絡の上は海八鉋を設定し1500 $\frac{\text{kg}}{\text{m}^2}$ の出現計画で、この開発工事は着手して4ヶ月を要する計画であります。

従つてこの関係の開発工事は約4ヶ月で一切完成し、杉谷層、海八層関係の合計出現は最終の形としては2000 $\frac{\text{kg}}{\text{m}^2}$ の出現計画であります。

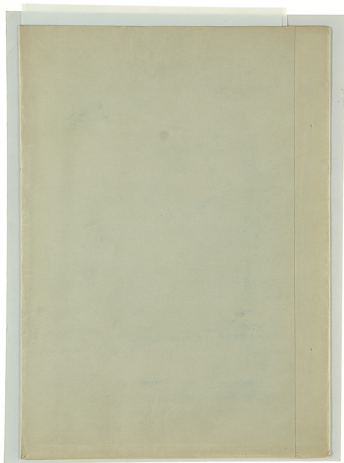
以上に列する坑外設備は、弊社の固有坑口の利用によつて新設の必要は認められませんが、一部補修、改造等を計画してゐます。

以上の如く弊社と致しましては、日吉鉱業所の余命少い今日、将来につき甚だ憂慮に堪えないものがあり、これが打開策は偏へに御社の御厚情にお預りするより他なく、御願申上る次第でございます。
尚 開発計画の詳細につきましては、若し御必要がありますれば別紙をもつて御説明申上げる所存であります。

以 上

採掘計畫圖在中

三井鉱区採掘計画図 縮尺六十分の一



昭和22年10月

共同石炭産業株式会社

日吉鉱務所

出炭計画説明書

1. 採掘の現況

日吉鉱務所は採掘場1378号及び祖師堀場10号の2鉱区を合併産出し、その可採炭量及び坑口出炭数量、並びに炭種別出炭数量は別紙添付の出炭計画表の通りであります。

右計画表中Kも中止しています如く、当方三坑の月産4000吨は明22年1月K採掘を終了、奥K南早八尺坑の月産2000吨も22年2月Kは終了の予定であります。

これらの各鉱区内の出炭減少は、炭表の如く各次年度の坑口の出炭増強、或は休止坑口の再開等によつて補填して行く方針であります。併し乍らいずれにせよ各鉱区内の臨時的可採炭量の合計が25萬吨程度であります為に、ここ4年間で脱炭する状態となつております。

即ち今次頁部区の一部割分譲方を御覧に申上げました所以であります。

2. 増産後の出炭計画

増産後の出炭計画立案の基礎となつた当方の側面は、先ず当方の市街維持の為に従来通り月産4500吨を確保し、三井炭炭の分

は増産によつてその責任を果したいと云ふことであります。

即ち今次増産年度の合計の約100000屯を責任納税数量とし、之を附表の如く5年5ヶ月(月平均20000屯納税)で完納したい方針であります。

勿論その為には右の増産手続の完了が極めて早期に果されることか最も望ましいことではあります。従ひて之を昭和33年2月迄(昭和32年度)に手続を終り、4月より納税を初めると仮定し、しても、附表の如く増産目標を達して増産計画の上正産の出産状態になり得るかと昭和34年の10月、即ち5ヶ月を要します。

従つて当方が正常に責務を果して納税を開始します時期もそれ以後になり、之では早期納税を希望される貴方の要望に込めることが不可能でありますので、若し右の増産手続が33年2月迄に完了されると云う見通しの可能なれば、当方は之とへ増産以前と云えども何等かの方法で産区内の出産を増産し、之を抵償して昭和33年7月頃より月産500屯増産を承諾致し、しても差支へはないと思つて居ります。

勿論この納税数量は、合計の納税責任数量の一部として処理して頂く考へであります。

附表の出産計画表は、すべて右の原案主旨のもとに作製したものであります。

即ち上述の如く、増産完了後当方の産額計画は月産5000乃至8000屯と云ふことになり、その内三井納税約20000屯で、当方の販売量は現在月産4500屯の計画であります。

御承知の如く今次の増産々産は既産区域又はドンの人里によつて炭層は使ひし、ボクツト状態にあると考へられ、深炭の掘進は困難でありますたとへ、大部分人力に依る増産方法をとらなければなりません。

従つて労働者の大量増員が必要であり、これに伴ひ炭住の増産等諸種の困難な問題が生起して来ます。

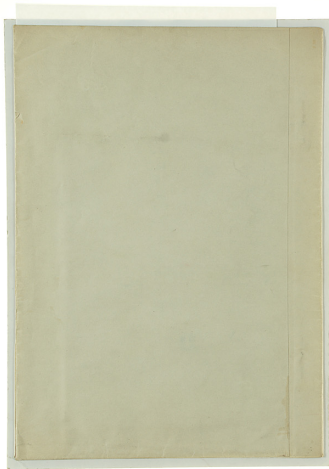
問題は尚ほここにある、所謂炭層を効率的に掘削投資の弊を防かうとすれば、どうしても上述の如き20000屯〜25000屯程度の増産しか期待出来ず、吾々はこれ以上の上限ではないかと考へ思つてゐるのであります。

以上附表出炭計画の作製内容について、当方の基本的な考へ方の概要を説明申上げました。勿論これは原案の考へ方でありまして、應々機動的に採掘計画をするやうになりますと、作業の進捗の程度によりましてその炭に若干の増力形(納税開始の時期、取いはその月産の数量等の若干の変更)を持たせて頂きたいと思つております。

出炭計画表
在中。

出炭計畵表





御
秘
書
衣
中

第一回	第二回	第三回
40	39	38
2	2	11
29	24	12

第1回

昭和39年11月12日

鑛区分譲
御願書

共同石炭鉱業株式会社

昭和二十一年十一月十二日

株式会社石炭鉱業所

社長 中村文平 殿

共同石炭鉱業株式会社

社長 入交大兵衛

鉱区分譲御返書

敬啓 陛下政府の御、貴社並々御多分の御苦心より御返が申上
ます。

時つて御社も貴社の御別御底意を察りまして、現在多事多難
な石炭界の政治期にありましても大過なく御返を御返してあります。
之も御えに御社の多大な御厚意と御支援によるものと何時も深く
感謝致して居ります。

擬て御社が経営しています日吉鉱業所は自鉱区と御社御産自
所より最次に直り、鉱区分譲を受けました区域にて、開坑以来十
有五年に亘り操業を維持し乍ら逐次出炭増強を図り、之に対応し
た坑内外の御設備の充實を行い、操業継続に努力して参りました。
現在御産自を受けました、自鉱区が日吉鉱業所の主要採掘区域
となつております。

即ち自鉱区には主力坑口である竹藪坑（杉谷上二尺層、全下二尺
層兼行）月産有煤〇〇〇〇噸および杉谷二尺坑（土間八尺層兼行）
月産有煤六〇〇〇噸、合計月産一〇〇〇〇噸を操業本体とし、他
に自鉱区の出炭を加え月産一三〇〇〇噸を基準出炭として、

全体出炭を確保しますと共に、有価より比較的高炭価の無石出炭
増産を引上ることによる、無炭採算割の確立に努めています。
然し乍ら採炭主力をなしています、竹藪坑および杉名二尺坑共に
既存採行区域は極めて狭少となり、採られた炭も幾何も無い
寒状にあります。寒状の盤推移致しますと、近き将来終山の運
命を余儀なくされ、従関係員とその家族等の将来並に現行設備
等を考えますと、今後の採炭方針の如何は弊社にとりまして、
極めて重大な問題であります。従つてその緊急対策を必須とし
今後の無炭状態について一方ならず苦慮している現状でありま
す。

勿論終極により終山を迎えます事は炭産の宿命ではありますが
現在就労していますアロイ余名の従関係員とその家族の将来を考
えますと可能な限り採炭を継続致したいと企及しています。
今後中小炭坑の採炭は幾多の困難を予面されますが、アロイ余名
に亘る就労を減じまして一貫新設した労使の妙は愚案とも
断りたいものと想つて居ります。

以上の如く目前にこの重大な就労問題と取組んでいます貴社と
致しまして、その危機打開の唯一の方法それは御社の御厚情に
依頼する外に対策は見不出せません。

貴社設備手立て御無期な御願ひで誠に恐縮ですが、以上の如き
弊社日吉炭産所の苦衷を御察下下さいまして、貴社設備に御施
支え願ければ、御社炭区内の別紙図面に示す区域の掘分譲をし
て戴きたく存じます。

今図面分譲区域は、現有坑内より採炭極めて容易であり既存設備、
もその儘利用可能であり、又炭質条件、炭質、貯存状態等につき
ましても充分に熟知して居ります關係上、その建設を有意義で活
用し採行することにより、日吉炭産所の更生可能なりと確信する
ものであります。

この辺の事情を御察下下さいまして、当近日吉炭産所の現状の打
開と起死回生の為特別の御配慮方を御願ひ申上る次第でありま
す。

御承諾を得ましたならば、之が採炭金銭につきましては、貴社の
御方針、御希望等を尊重致しますことは勿論のこと、採炭に關し
ましては熱心誠意御社の御指示に従ひ、寧ろも御先に御発願を煩
しませんが、堅く御誓ひ申上げます。

宜ね置きの御願ひで尚端の程でございますが、貴社の苦事情を
御察下下さいまして、特別に御設備の上御許可願ひますよう、伏
して御願ひ申上げます。

敬 具

附 記

飲 区 分 調 整 要 旨

① 飲区分割希望区域

福岡県糟屋郡志摩郡マフオ号飲区の図示の区域

株式会社源生飲業所所有区域

福岡県糟屋郡志摩町地内

面積（現有より増加の分）ノムベール

② 飲区分割希望農地

竹谷郡群 漆生八尺地（上層及本層等）

本 層 群 全 層

③ 飲区分割方法

飲区分割には租飲区、増進増区、分割等の種々の方法
が考えられますが、凡て商社の創意向通りに決定した
いと思います。

④ 新飲業権者名

商社の掲示通りに従います。

但し共同名義（株式会社源生飲業所及共同石炭製糖株
式会社）の際は源泉上当社を共同飲業権者代表者に商
社指定する様御希望致します。

追 伸

本件につきましては、さきに（○月○ノ日）同主管の御願書
を提出しておりましたが、御社内に於て将来の振替画面等
について根本的な問題を検討中の趣にて、当社の考慮範囲内
の一部（振替画面の振替画面区域の一部解除）の許可を得た
のみでしたが、貴院御社におかれましては、振替の基本方針等
について、充分なる御検討がなされたこととしますので、将
来本作の御承認を仰ぎ認可を賜りたく敬えて再提出し御願ひ
申上るものであります。

再 押

鉤區分讓願圖

縮尺五十分一

深部採掘計畫圖

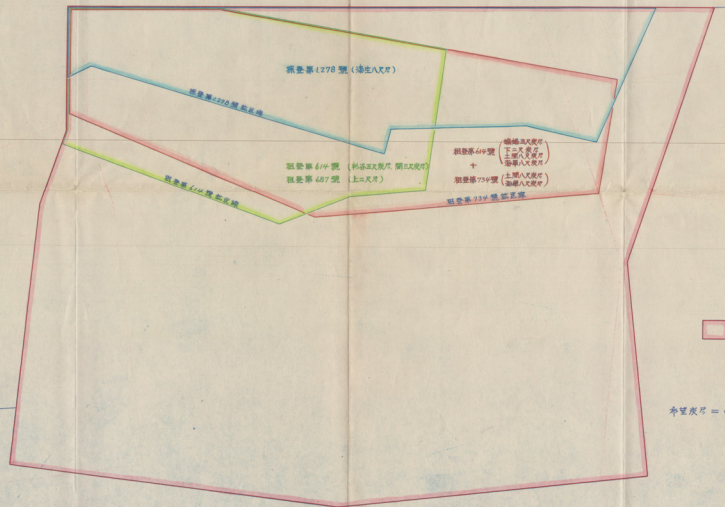
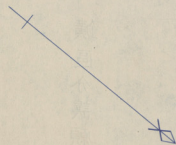
縮尺三十分一

鎮區分讓願圖



鉦區分讓願圖

縮尺五千分の一



鉦區分讓區域

希望度尺 =	鉦區第 1278 號 (通生八尺丁)	}	鉦區第 1275 號 (通生八尺丁)
	鉦區第 414 號 (新通生八尺丁, 開田八尺丁)		
	鉦區第 487 號 (上二尺丁)		
	鉦區第 734 號 (土間八尺丁, 通生八尺丁)		
			鉦區第 734 號 (土間八尺丁, 通生八尺丁)

深部探掘計画圖



深部採掘計畫圖 (綜合圖) 縮尺 三千分の一

福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭
鉱業株式会社

日吉鉱業所

電話
(稲築四三〇番)
天限一一番

和
年
月
日



株式会社厚生鉱業所
社長 中村文平

昭和29年2月27日

山野鉱業株式会社
社長 中村文平 殿

三井鉱山株式会社
山野事務所
社長 羽鳥忠久

共済石炭鉱業株式会社
社長 入交実兵衛

鉱区分割後に御座る区域の
制限解除御返に關する件

御座る 同下層部の御座る社を御多謝の事と存じます。
御座る社御座る社の特別の御座るを御りまして、現在の御多謝を
石炭層の御座るにありまして、大抵の御座るが御座る御座る御座る
とは御座るに御座るの御多謝と御座るによるものと、何時も御
座る御座るして御座る。

御座る御座るの御座るして御座る、日吉御座るは御座る区と御座る山野御
座るより御座るに御座る御座るを御座るして御座る区に御座る、御座る以来20
御座る年に御座る、御座るを御座るして御座る御座る御座るを御座る、これに御
座るした御座る内外の御座るの御座るを行ひ、御座る御座るに御座るして御座る
した。

御座るは御座るを御座るした御座るが日吉御座るの御座る御座る区と
なつて御座る。

御座る御座るには主力御座るである竹御座る（御座る上二尺層、下二尺層
御座る月御座る6000噸）及御座る二尺層（御座る八尺層御座る、月御座る石
6000噸）の御座るより御座るを御座るして御座る。



然し乍ら現在の出版で満足しますと、可成り差も指次小さくなりその命敵も目前にせまりつもあり、将来の事業展開というところを考えると、誠に遺憾に堪えない現状であります。

この目前の収支問題の危機打開の唯一の方法、それは新社の御厚情に頼るが外に何策も見いだません。

茲に戦時国庫手御配慮な御願いですが、御社区域内の別荘区域に示す区域（現有租賦区の一部地区で特種炭田は土間八尺間と御石炭）の御分譲地に現有租賦区内の御炭炭田（御金御炭田及び御炭の御炭炭田）の御譲渡をして譲りたく存じます。

御社御厚情にすぎり得て、上記御譲渡が叶えられまると、御社御譲渡同一同と扱われますし、又現有炭田にて御譲渡を完全に行い得ますので、非常に幸甚に存じます。

この如く事情を御厚情下さしまして、貴社日吉炭田所の御別荘区域の御譲渡の御厚情下を御厚情中止の次第であります。

御社御厚情下さすれば、御社は御心御意をもちまして、御社の御譲渡に従い、御譲渡を御譲渡しまして、御心も御社に御譲渡を譲りませんことを御厚情中止致します。

貴社譲渡の御譲渡の御譲渡の御譲渡でございますが、貴社の御事情を御厚情下さしまして、御譲渡の御譲渡の上御譲渡を御譲渡すより、次して御譲渡の御譲渡致します。

敬 具

昭和三十一年三月 日

三井鉱山株式会社

社長 栗 木 幹 郎

現有租賦区別荘区域の 炭田分譲 並
現有租賦区内の御炭炭田区域の御譲渡除

御 厚 情

共同石炭炭田株式会社

社長 入 交 太 兵 衛

謝辞

時下紙幣の需要益々御座るの慶賀の語りに存じ上げます。

石炭放棄の苦境に陥るに拘りませず、今後益々多事多難な石炭
産出と信託して居りますが、御社の益々なる御決意の下に、
斯々と進められて居ります積極的な企業再建の御努力は弊社にと
りまして何物にも代え難い御指導と存じ、私共も覚悟を新たにし
ますと共に、心より御社の御発展を御祈り致します。

此の石炭界の盛衰期にありまして、弊社日吉、舟屋炭原所共に
大過なく採炭を継続して参りましたのも、御に御社の御厚物の賜
と深く感謝致しますと共に謹んで厚く御礼申上ます。

竊て、弊社日吉炭原所に於きましては均筑以来、 $\times$ 十余年に亘
り採炭を継続して参りましたが、此の間徐々に坑内外設備の充実
より、越山山野炭原所より放棄に至り、御座る地区炭原所
に依る地区の採分額を減き、炭界の趨勢に对应致しまして採炭維持
に努力して参りました。

現在御分額を受けました地区区域の竹藪坑（杉谷上二尺層、下
二尺層連行）月産有煤 $\times$ $\times$ $\times$ 噸、並杉谷二尺坑（北間八尺層連
行）月産御石 $\times$ $\times$ $\times$ 噸、合計月産 $\times$ $\times$ $\times$ 噸を採炭本体とし
他に自産区内の出炭を加え、月産 $\times$ $\times$ $\times$ 噸を高率出炭とし
して、金体出炭を確保しますと共に有煤より此等の高炭価の御石
出炭構成を引上る事により採炭採炭性の確立に努めています。

此の御所採炭の主力をなしています竹藪坑並杉谷二尺坑共に現
在御行区域は極めて狭少と相成り獲られた炭金額もない實状に
あります、現状のまま推移致しますと、竹藪坑は昭和 $\times$ 年上期
末終盤、杉谷二尺坑は昭和 $\times$ 年上期終盤が予測され、近き将来

終山の壽命を余儀なくされ、貯蓄資金従業員の将来を考えますと早急な対策を必要とし、今後の操業継続に就いて一方ならず考慮している現状であります。

尙餘終山より終山を運搬する専任炭坑の壽命ではありませんが現在就業していても700名の従業員は将来を考えますと、現有設備を有効に利用出来ず限り操業を継続したいと念願しています。今後の中心炭坑の操業は餘多の設備が予備されますが、20有余年に渡る経営を遂げまして一貫しました労使の絆は是等とも棄げたいものであります。其の最された唯一の対策として無償無期退職金は存じますが、御社の御厚情に御答がります外に対策が見出ません。

以上の如き現状の下に此の改善手を御願ひであります。別紙の通り御社炭区の一部分譲地区並保炭区（保安炭坑）の操業方を御願い申上る次第であります。

此の分譲地区申上りました杉谷二尺坑炭区並保炭区に御分譲を受けました諸君炭坑保安炭坑炭区は、竹藪比並に杉谷二尺坑より開採は極めて容易であり、又採炭設備も其の御利用可能な区域でありますので、若し炭坑の操業費上御差支えなければ以上の事情を御考慮下さいまして、御社日吉炭所所の起死回生の為の特例の御厚意方を懇願申上げます。

公私共に多忙な間、重ね重ねの御願いで恐縮の至りでございますが、御社の御業を御賛助下さいまして、特別に御取替と御許可を賜ります様に伏して御願ひ申上ります。

敬 具

炭 区 分 譲 要 願 書

保安炭坑区域解除後御書

1 炭区分譲希望区域

御開採操業金庫第3070号 御示の区域
株式会社保安炭所 区域内

2 炭区分譲希望炭層

土間八尺層

3 保安炭坑区域解除希望区域

御開採祖紅根炭所第4100号、第4200号、第4300号
の保安炭坑区域 御示の区域

御社日吉炭所所におきましては、開採以来20有余年に亘り有償炭並御石の操業を継続して参りましたが、此の御除々に境内外設備の充実を計り、御杉山御炭所より炭度に亘る御運搬地区並保炭坑炭区に於る炭区の一部を御杉山御主御炭坑口は竹藪比並杉谷二尺坑の両坑口で、御社より分譲を受けました祖紅根炭所炭区に御採掘を御願ひしています。

現在竹藪比（杉谷上二尺、下二尺炭行）・月産御石4000吨並杉谷二尺坑（土間八尺層炭行）月産御石4000吨、合計8000吨を操業本所とし、此に自炭区内の炭産を加え月産8000吨を基準炭産とし、操業を継続して参りましたが、操業の主力となしては竹藪比並杉谷二尺坑共に残存炭行区域は極めて減少となり残された炭産も無く、現有施設、従業員及びその家族等の将来を考えますと、今後の操業方針の如何は御社にとりまして極めて重大な問題と成り、その対策に御厚意して居る現状

であります。

今回御分譲品が復興地区の振興を御願い申上りました区域は、
現在管内より振興は極めて容易であり既存設備も其の應利用可
能であり、又設備品件、設備、貯存状態等に就きましては充分
防犯して居ります関係上、この経験を直ちに活用し執行する
ことにより、日吉鉱業所の更生可能なりと断言するものであり
ます。

昔北國平な御願いで真に感謝に存じますが、以上の如き弊社
日吉鉱業所の苦衷を御理解下さいまして、貴社御理解に御意立
えなければ、弊社の状況の打開策として、御分譲考慮より更に右
御分譲方法が復興地区の復興部除方を御願い申上げる次第で
御座います。

何卒御所の御設備を以つて、本社の御承諾を賜り度く伏して
御願い申上げますと共に御承諾を得ましたならば、之が振興金
校につきましては充分に貴社の御方針御希望を考慮致します所
存で御座いますことを御誓約申上ります。

昭和二十一年三月 日

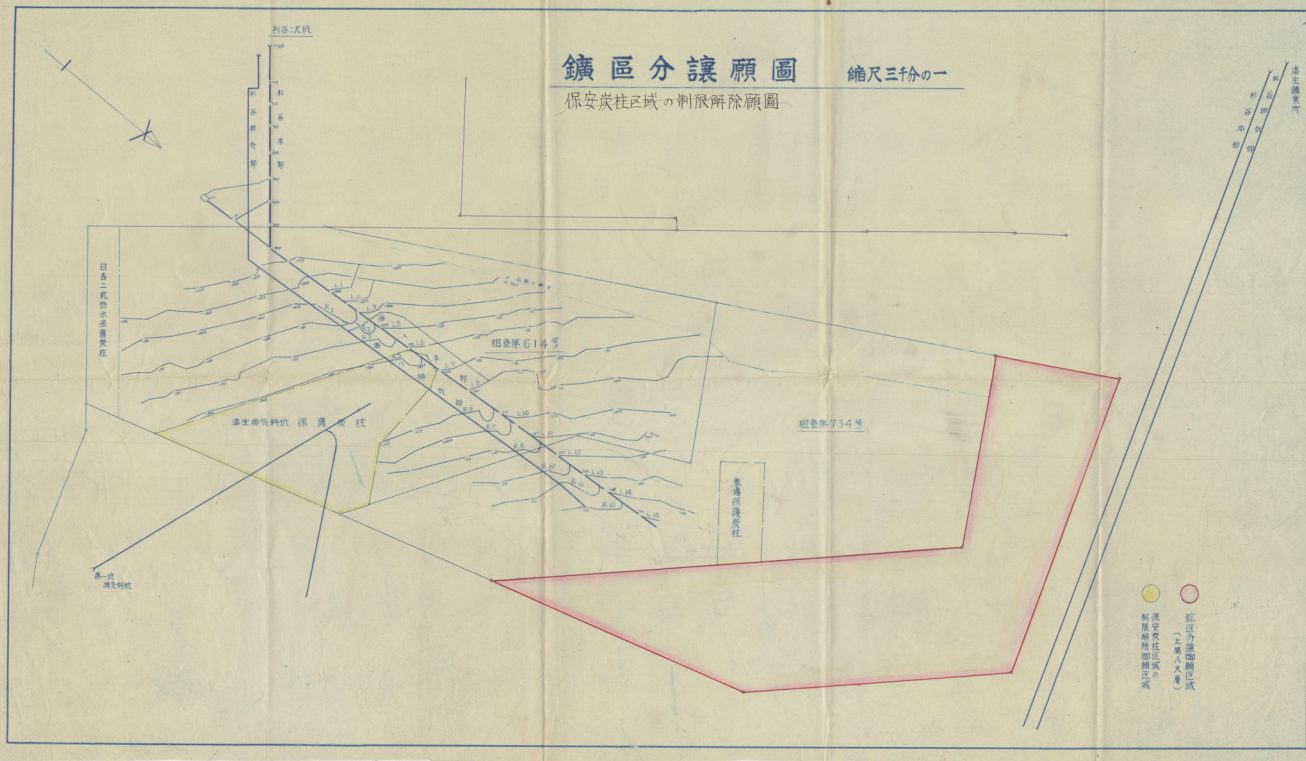
大同石炭鉱業株式会社

社長 入交 太兵衛

圖願分區鑛

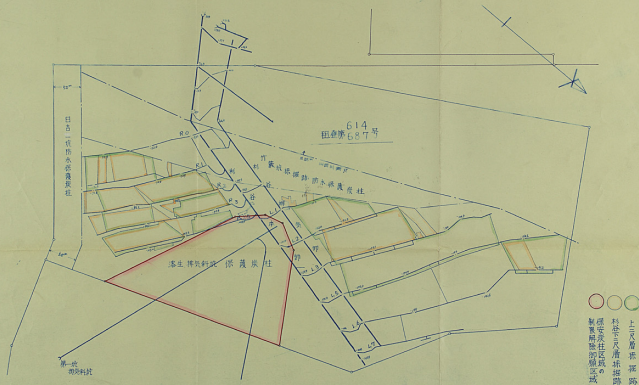
縮尺三千分の一

保安炭柱区域の制限解除願圖



保安炭柱区域の制限解除
(鑛区分譲)願圖

縮尺三千分の一



福岡県嘉穂郡稲築町才田

共同石炭
業株式会社

日吉鋳業所

電話 稲築
限一四三〇番

年
月
日

第3回

昭和○年○月○日

昭和○年○月○日
分 配 額 新
昭和○年○月○日

共同石炭鉱業株式会社

昭和××年×月×日

株式会社 養生製菓所

社長 原

真 殿

共同石炭炭業株式会社

社長 人 安 太 兵 衛

鉱 区 分 離 (変 更) 簡 便 書

陛下憲令の賜 貴社益々御多幸の事と存じます。

茲つて弊社製菓所の特別の御厚意により欲次に置る鉱区分離を受けまして、今日御事務の趣旨が持渡されておりますが、之は御えに同社の多大な御厚意と御厚意によるものと何時も御く御感謝しております。

然し乍ら御分給を受けました区域も、この際御厚意し下さる御行合致も幾何も御い御状であります。

茲つて御了承の如く、さき（昭和××年×月×日付）に当社日吉製菓所の奥状と鉱区分離の御簡便の申請を述べ、鉱区分離方の御趣旨を御出した次第であります。その御簡便の区域について変更（当初より御少の上一部御少）致して御きたい旨と御分給の早期御許可方に対する御趣旨を御提出し今日におこんでいます。

茲御更御簡便の区域についても、御社社内にて御求めの御簡便御等により御御計の結果、御簡便があるようにしたので、この御改めて貴社御簡便の御簡便を御簡便と御簡便の御簡便の御簡便に示す区域の御分給として御きたく御簡便御分給の御簡便を御提出するものであります。

鉱区分割の困難の主旨等についてにつきましては、さきに提出
致しました御意見に記述の通りであります。

何卒当社日吉鉱務所の開拓調査の爲に特別の負担額方を明
記の通り申上る次第であります。

ゆ采割を得ましたならば、之が採集金割につきましては、
貴社の御方針、採集金割を尊重致しますことは勿論のこと
御案に照して、誠心誠意貴社の御指示に従ひ、断かも
私的に何連絡をおかけしませんでしたことを深く御断り上げま
す。

取組取組の御断りで御断りの通りでございますが、御断りに本
社の再整理を早急に御断り可なりと申すよう伏して御断り
の申上げます。

敬 具

附 記

鉱 区 分 割 御 断 附

1 鉱区分割希望区域

福岡県探検調査第 1000 号鉱区の図示の区域

福岡県嘉穂郡桂原町

株式会社桂生炭田所区域

面積（現有より希望の分）
杉谷層 約 200 アール
土間層 約 200 アール

2 鉱区分割希望炭層

本層群中の

杉谷上二尺層	コーモリ五尺層
杉谷五尺層 { 土層	下二尺層
{ 本層	土間八尺層
間三尺層	海軍八尺層

3 鉱区分割方法

桂生炭の新規認定

桂生炭田 昭和 22 年 2 月 20 日まで

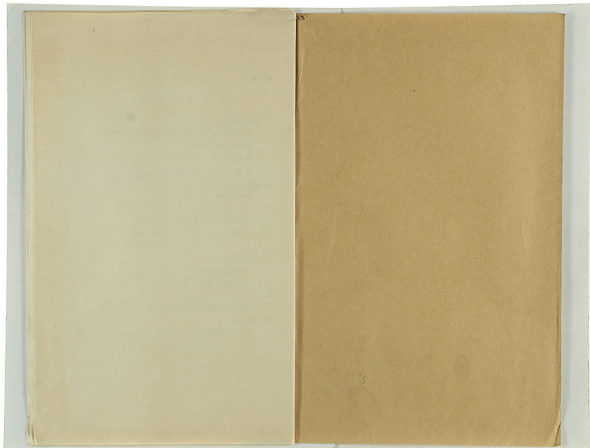
4 桂生炭代

桂生炭代は協賛の上決定致したいと思ひます

5 桂生炭者

北九州南若松区本町 2 丁目 2 番地

共同石炭産業株式会社



福岡県嘉穂郡稲築町大字才田木谷二二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭

鉱業株式会社

日吉鉱業所

電話

稲築四三〇番
大限一一番

昭和
年
月
日

福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭
鉱業株式会社

目吉礦業所

電話 稲築四三〇番
大隈一一番

御願書在中



福岡縣嘉穂郡稲築町大字才田本谷三二六ノ一

(稲築局區内)

共同石炭
鑛業株式会社

日吉鑛業所

電話
〔稲築四三〇番〕
〔天隈一一番〕

昭和
年
月
日

御願書
在中



掘造工程表

坑口別	坑道名	1 年 度		2 年 度		備 考
		上	下	上	下	
竹 炭 八 尺 坑	杉 谷 部	245 m	173 m			● 杉谷坑道掘造 ● 杉谷八尺戸内坑道掘造
	杉 谷 部	173 m	542 m			
	杉 谷 部		323 m			
	株 炭 切 羽			230 m (杉谷部)		● 杉谷八尺戸内坑道
杉 谷 二 尺 坑	杉 谷 部	272 m	240 m			● 杉谷坑道掘造 ● 杉谷八尺戸内坑道掘造
	株 炭 部	272 m	243 m			
	株 炭 切 羽			2000 m (杉谷部)		● 杉谷八尺戸内坑道掘造



出炭計画表

採口名	種 別	1 年 度												2 年 度												備 考
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
杉木野原	堀進炭	前田堀進中								80	100	230	300	300	200	300	200	300	200	300	200	200	200	200	200	
	切羽炭												800	800	1500	3200	3500	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	
	計									80	100	230	380	800	1700	4300	4700	4000	4000	5000	4000	4000	4000	4000	4000	
寄八野原	堀進炭	色石堀進中								60	120	120	180	180	200	200	350	400	200	180	180	180	180	180	180	
	切羽炭															300	1000	1000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	
	計									60	120	120	180	180	200	500	1300	1820	2200	2180	2180	2180	2180	2180	2180	
計	堀進炭								80	260	350	420	580	480	400	550	620	500	350	380	380	380	380	380	380	
	切羽炭												100	500	1000	2000	2500	3000	2000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	
	計								80	260	350	420	700	1080	1400	1550	1820	4500	6180	8200	8180	8180	8180	8180	8180	

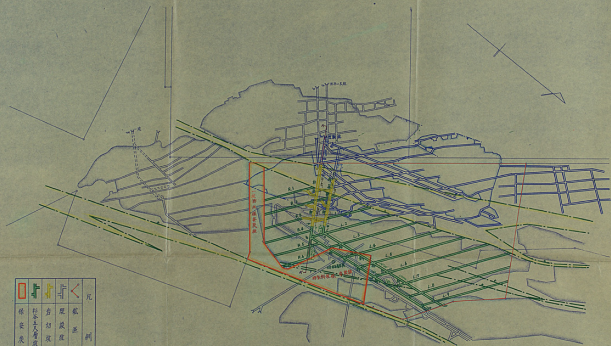
坑道掘進計畫表

掘進時期	掘進日期	掘進名稱	掘進類別	掘進傾斜	掘進加管		水單位	作業方式	掘進距離	掘進長度		備 註
					掘進断面	有封断面				水平距離	斜距離	
新 永 王 天 層	竹 炭 坑	新永卸	渣石	20°-00'	2.02 × 2.52	2.12 × 2.62	1.20			100	100	
		新永卸	渣石	25°-05'	2.02 × 2.52	2.12 × 2.62	1.00	2	15	225	285	
		新永卸	渣石	15°-50'	2.02 × 2.52	2.12 × 2.62	1.17	2	55	120	125	
		新永卸	渣石	19°-10'	2.02 × 2.52	2.12 × 2.62	1.20	2	45	500	520	
		新永卸	渣石	20°-00'	2.02 × 2.52	2.12 × 2.62	0	2	15	120	130	
		新永卸	渣石	25°-05'	2.02 × 2.52	2.12 × 2.62	0.5	2	45	135	195	
		新永卸	渣石	16°-50'	2.02 × 2.52	2.12 × 2.62	0.0	2	65	25	25	
		新永卸	渣石	18°-00'	2.02 × 2.52	2.12 × 2.62	1.20	2	45	540	520	
		卸炭炭	渣石	0°	1.02 × 1.02	1.02 × 1.02		2	65	15	55	



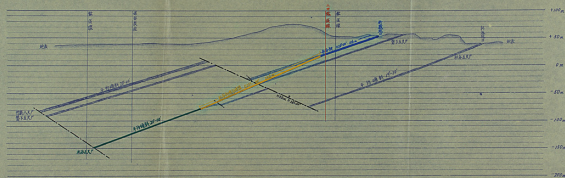
杉谷五尺層採掘計畫圖

縮尺六十分之一



				凡
採掘區	杉谷五尺層遺蹟	右部遺蹟	左部遺蹟	例

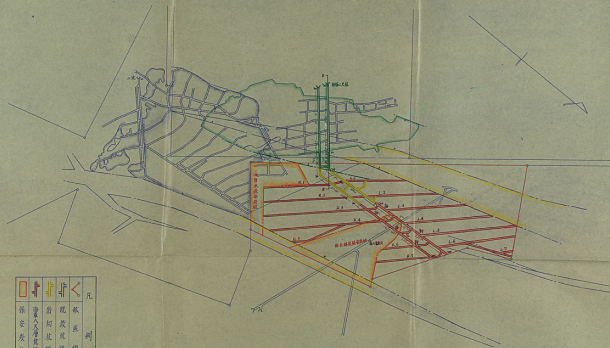
A-A' 断面圖 縮尺三千分一



坑道掘進計畫表

採掘時期	坑口名	坑道名	掘削	傾斜	坑道加寬		水溝位	作業方式	坑道長度	掘進量		備 註
					掘進断面	有始断面				水平距離	斜長	
第一八尺層	影谷二尺坑	第一坑	掘削	15°-25°	242 × 272	212 × 242	-60			250	270	
		第二坑	掘削	15°-35°	242 × 272	212 × 242	-74	2	65	60	65	
		第三坑	掘削	15°-40°	242 × 272	212 × 242	-74	2	35	210	230	
		第四坑	掘削	16°-50°	242 × 272	212 × 242	-90	2	15	220	240	
		第五坑	掘削	15°-30°	242 × 272	212 × 242	-82			290	260	
		第六坑	掘削	15°-30°	242 × 272	212 × 242	-70	2	15	95	90	
		第七坑	掘削	25°-30°	242 × 272	212 × 242	-50	2	35	210	230	
		第八坑	掘削	16°-50°	242 × 272	212 × 242	-90	2	15	240	215	
		第九坑	掘削	20°-50°	182 × 182	182 × 182		2	35	90	90	

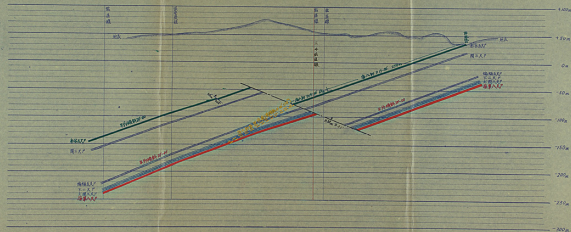
海軍八尺層採掘計畫圖 縮尺六千分一



					凡
採掘層	海軍八尺層	岩切地盤	既設坑道	排水線	圖



B-B' 断面圖 縮尺三千分一



福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三三六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭
鉱業株式会社

日吉礦業所

電話 稲築四三〇番
大隈一一番

御願書在中



福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷三六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭
鉱業株式会社

日吉礦業所

電話
稲築四三〇番
大隈一一番

昭和三十年七月七日



圖

書

書

共同石炭鉱業株式会社

昭和三十年七月七日

東京橋中央区御倉七丁目五番地の地

共同石炭産業株式会社

社長 入江 太



三井鉱山株式会社

社長 栗木 幹 殿

謹啓

貴区分御親しいに伺ふ件

時下盛夏の盛なり御社益々御清栄の段御慶賀極に存じます。

前者 弊社御社の移居の御近段を蒙りまして、石炭界未曾有の不
況時期にも拘わらず、ともかくも事業の経営持続が出来得ますことは
偏へば御社の御厚情によるものと深く感謝致して居ります。

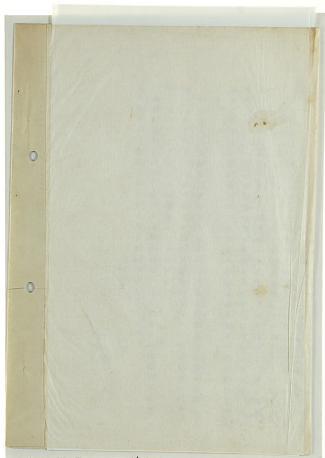
恒て弊社は御監業所及び日吉監業所は共に可採炭産出が減少致し、
将来の事業継続に就いては憂慮に堪えない現状であります。又、

るところにりますと御社の三井山崎鉱務所は経営合理化の一環として、旧山崎一坑銅鉱区域の採掘を中止されましたことでありませうか、該区域は弊社日吉鉱務所と隣接致して殆ど同一関係上、若し風評の如く該区域の採掘が御社に於て予定されておられませぬならば、前記区域鉱務所の採分額方につき何分の割配願ひがりますや御承認願ひ上げます。

準として右御許可下さいませれば弊社の将来に明るい希望を見出し得るものであり、今後の経営に就いては御社も御社に御迷惑を御掛け致しますんことを極く御留意願ひ上げます。

誠に恐縮の至りでございますが弊社の事情を直激く御賢察下さいまして特別の御設備相償らむし度く御願ひ願ひ上げます。

敬
具



昭和三十年十月五日

御

願

書

共同石油鉱業株式会社

昭和三十年十月五日

東京都中央区銀座七丁目五番地の場

共同石井鉱業株式会社

社長 人 安 太

蔵

三井鉱山株式会社

社長 栗 本 幹 殿

鉱区分譲御願いの件

謹啓

時下秋冷の御側社益々御播榮の段慶賀並御存じます。

陳者 弊社御毎度格別な御厚誼に限り創業以來大過なく今日あるを得ましたことは偏に御社の賜と深く感謝致して居ます。

既に御了知の如く、弊社の烏須鉱場所及日吉鉱場所共創業以來既に五十有余年を経過し、従つてその保存可採炭量も減少し、尚抗其茲新年の命脈と相成り、誠に遺憾に堪えない状態に立ち至りましたる地、予而弊社の経営合理化の一環として旧山野一坑新坑区域の採掘を中止されたるが如く聞き及びましたので、該区域の掘分譲方を本年

七月七日附解書を以つて御願ひ具陳致しましたる次第で御座います。

元來右の旧一坑斜坑区域の御座は当社の興廃に拘わる問題で御座いますので、来る九月十二日九州に出張の御当社の炭地幹部と共に御社山形鉱所に参上し、貴社現地最高幹部に親しく拝見の便を得まして、口頭を以つて御社の御状を御え、御に御願ひ致しました旧一坑斜坑区域の全般的な問題はその後石炭令強化臨時措置法等の関係上新坑開採が困難になりまし九現状に鑑み一応後日に譲り、取りあえず目前の当社の危機打開の方法として、本願書添付図面の区域を譲渡致しまして之が御分譲方につき御配慮を願ひ、且つ斯方の主旨を御社へ御取次下さいませ御願ひ申上げました次第であります。

以上是等の願書提出の経緯と御社の心憎を披瀝致しましたる次第であります。御分にも今度の申請区域は御社の御事情不明のため御命令も未断致しませ、斯方で御手に定めましたものであります。同様に、若し御社の操業上最支えあれば充分に御訂正の上御許可され度く存じます。

幸いに御許可下さいますれば御社は誠心誠意を以つて事業を行い、即ち御社に御迷惑

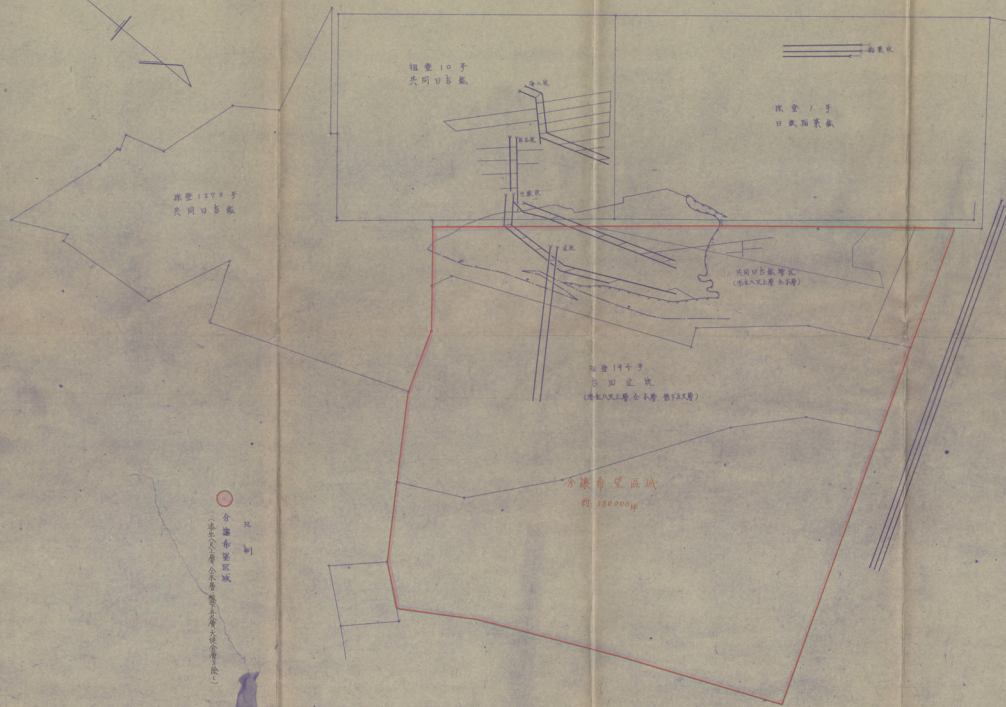
を相與わすような事を御誓約申上げます。

誠に申つて重々の御願ひで恐縮の至りで御座いますが、御社の右事情を御察察下さいまして特別の御配慮を相與わし度く御願ひ申上げます。

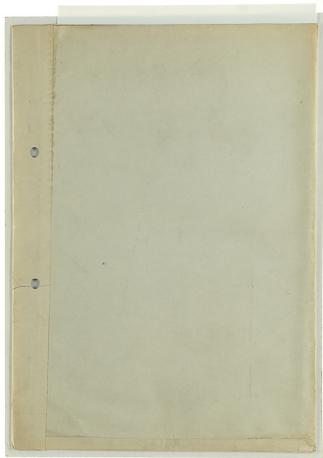
敬 具

鑛區分讓希望區域圖在中。

共同石炭鉱業株式会社 鉱区分譲希望区域図 縮尺六千分の一



○ 分譲希望区域
本図は、共同石炭鉱業株式会社、石炭鉱業法に基づき作成したものである。



昭和廿一年八月二十日

三井鉱山株式会社

社長 黒木 幹 殿

鉱区分譲御願いの件

御啓

時下三伏の折、御社益々御隆栄の慶賀至極に存じます。

陳者、御社領毎度格別な御厚意に預り、御礼以來大知なく今日あるを得ましたことは、偏に御社の賜と深く感謝致しております。

茲で、去る昭和廿年十月五日付を以つて御願い申上げました横肥の鉱区分譲方御願いの件で御座いますが、其の後継々御希望について御承諾をおかけ致しておりますこと、誠に感謝致しております。

東京都中央区銀座七丁目五番地の一

共同石炭株式会社

社長 入 野 太



就きましては、当社におきましても、右の御願い申上げました区域について其の御願々考究を重ねました結果、先般（昭和廿年十月五日付）分譲方面御願いの圖帳が、或は余り大に失したために貴社に御迷惑をおかけしているのではないかと考えられ、且つ又、開する地によりますと、右区域の御願には未だ貴社に於いて一部使用されている坑道或いは施設のあることを知り得ましたので、種々検討の結果、相當の防水設備を設置し、それより上部の区域を遮断致しまして再度御分譲方の御迷惑を待たく、重ねて本願書を以つて願願申上げる次第であります。

尙餘右の遮断致しました区域については詳細な貴社の御事情を存じませず、従つて更に多くの修正を受けることゝは存じますが、懇ねて具陳致し、且つ又、御承諾付図にても御了解の如く、窮迫した貴社の事業行を阻害するの状況を打開させて置くために、何卒特別の御配慮方を願願申上げる次第であります。

分譲を御願い申上げます奥層は、杉谷層、編層、海軍八尺層、土間八尺層で御座いまして、奥紙添付申上げました図面の輪廓面にも記しました通り、奥層の高差を利用して右各層とも、貴方の現在御行致して居ります坑口より簡単に排棄施設が出来ますので、幸いにして御配慮を得ることが出来れば、小生を始め従業員一同に幸せに存じます。

重ね々の御願いで御願の至りで御座いますが、当社の右事情を御覽察下さいまして特別の御配慮を相煩わし置く、御願い申上げます。

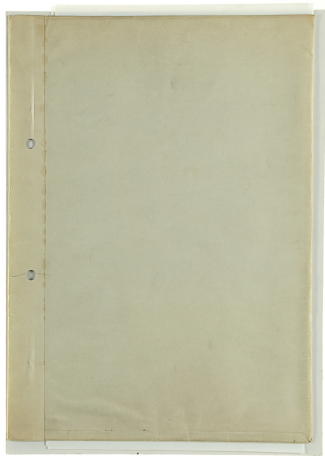
敬 具

鑛區分讓希望區域圖在中。

鉉區分讓希望區域圖 縮尺六千分之一

A~B 裁断面図





阿 爾 普

昭和33年1月23日

三井鉱山株式会社山形鉱業所

所長 湯 浅 繁 吉 殿

共同石灰鉱業株式会社日吉鉱業所

所長 宇 佐 見 殿



鉱区分割御題いの件

謹 啓

時下厳寒の節 御社益々御清祥之段慶賀至極に存じます。

但て昭和31年4月20日付御社より鉱区分割の御題いを申上げました区域につきまして、其の後若し御許可の栄を賜りましたは如何うに開発するかにつき、当方に於いて調査研究を進め次のような開発計画を立案致しました。

何分にも御社の詳細な御事情を存じませず、従つて御社の勝手な計画となり、御社の御批判を受けることと思いますが、次にその開発計画の概要を申述べさせていただきます。

1. 杉谷層関係の開発計画概要

杉谷層は別紙図示の現在日吉鉱業所で掘行中の杉谷五尺銅を

延長しますと直ちに御社の鉱区内に入ります。

この新層の区域は着手後4ヶ月で2000%の $\frac{5}{8}$ の出炭可能です。
あります。

その後は、杉谷右新層を別箇の如く設定し、新層の区域を
20ヶ月の予定で開発し2500%の $\frac{5}{8}$ の出炭計画であります。

以上の開発に併行して現在の竹新坑新層を主要運搬路に
切替へ、該坑より左部の水平掘入坑道によつて杉谷右新層を設
定すると同時に、別に図示の如く排気坑を地表より新に開鑿
し、該坑の深度40mの位置より排気斜坑道として舊配杉谷坑
に連絡し排気坑とします。

此の工事は2ヶ月で完成の上杉谷右新層とも連絡し、その
後の杉谷層の出炭は竹新坑へ運搬を切替へます。

2. 海軍八尺層関係の開発計画概要

この計画は、編組五尺層、土組八尺層、海軍八尺層の探掘計画
で、海軍八尺層に主要巻掛坑道を設定し、各曲片の掘入坑道
によつて上部の二炭層（土組、編組）の探掘を実施します。

主要巻掛坑道は、杉谷五尺層を利用し、新層を切つて海軍八
尺層に掘戻し、それより斜掘を設定して該地区より2500%の $\frac{5}{8}$
の出炭予定であり、着手後14ヶ月で出炭可能です。

それより右水平坑道を設け舊配排気坑、および排気斜坑道

と連絡の上は海八層を設定し2500%の $\frac{5}{8}$ の出炭計画で、この
開発工事は着手して40ヶ月を要する計画であります。

従つてこの関係の開発工事は約40年で一切完成し、杉谷
層、海八層関係の合計出炭は最終の形としては2000%の $\frac{5}{8}$ の
出炭計画であります。

以上に対する坑外設備は、弊社の現有坑口の利用によつて
新設の必要は認められませんが、一部補修、改造等を計画し
てみます。

以上の如く弊社と致しましては、日吉鉱業所の余命少い今日、将来
につき甚だ憂慮に堪えないものがあり、これが打開策は偏へに御社
の御厚情にお頼りするより他なく、御願申上る次第でございます。

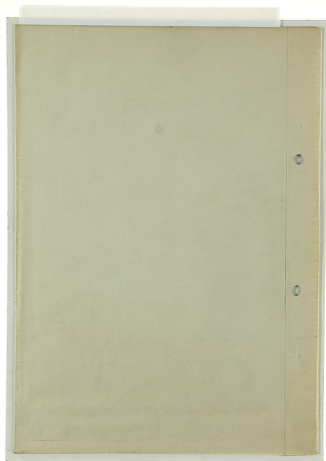
尚 開発計画の詳細につきましては、若し御必要がありますれば
別紙をもつて御説明申上げる所存であります。

以 上

株掘計畵圖在中

三井鉱区採掘計画図 縮尺六十分一

							凡
星	星	星	星	星	星	星	星
星	星	星	星	星	星	星	星



昭和33年10月

共利石炭鉱業株式会社

日吉鉱山

出炭計画説明書

1. 採炭の現状

日吉鉱業所は採登第1278号及び租鉱権第10号の2鉱区を合併処理し、その可採炭量及び坑口別出炭数量、並びに炭種別出炭数量は別添録付の出炭計画表の通りであります。

右計画表中にも明記してあります如く、当方三坑の月産1000吨は明33年1月に採炭を終了、要即海軍八尺坑の月産2000吨も33年2月に終了の予定であります。

これらの自鉱区内の出炭減少は、別表の如く逐次各坑口の出炭増強、或は休止坑口の再開等によつて補填して行く方針であります。併し乍らいずれにせよ自鉱区内の経済的採炭量の合計が35萬吨程度であります為に、ここ数年間で終出する状態となつております。

即ち今次貸鉱区の一部別分譲方を御願い申上げました所以であります。

2. 増産後の出炭計画

増産後の出炭計画立案の基礎となつた当方の概想は、先ず当方の市面維持の為に従来通り月産6500吨を確保し、三井精炭の分

は増産によつてその責任を集めたいと云うことであります。
即ち今次増区々域の全炭量の $\frac{1}{3}$ 、約100000屯を責任納炭数量とし、之を調査の如く約3年9ヶ月(月平均2000屯納炭)で完納したい方針であります。

勿論その為には右の増区手続の完了が極めて早急に果されることが最も望ましいことであります。従り之を昭和33年3月迄(昭和32年度)に手続させ終り、4月より増産を初めると仮定しました。然るに、調査の如く新層掘削後増産して切羽設定の上集炭の出炭状態になりますのは昭和34年の10月、約18ヶ月を要します。

従つて貴方が正常に貴方に對して納炭を開始します時期もそれ以後になり、之では早急増産を希望される貴方の要望に應えることが不可能でありますので、若し右の増区手続が33年3月迄に完了されると云う見通しが可能ならば、貴方はたとへば増産以前と云えども何等かの方法で自給区内の出炭を増産し、之を調整して昭和33年7月頃より月産500屯程度を前納炭としても差支へないと思つて居ります。

勿論この前納炭量は、合計の納炭責任数量の一部として延滞して頂く考へてあります。

別表の出炭計画表は、すべて右の根本主旨のもとに作製したものであります。

即ち上述の如く、増区完了後貴方の採炭計画は月産8000乃至10000屯と云うことになり、その内三ヶ年分約2000屯で、貴方の販売量は現在同限5000屯の計画であります。

御承知の如く今次の増区々域は炭炭区域又はドンの侵入によつて炭層は硬化し、ボクスト状態にあると考へられ、採炭の機械化は困難でありますため、大部分人力に依る増産方法をとらなければなりません。

従つて労務省の大量雇用が必要であり、これに伴ひ炭住の増産等諸般の困難な問題が生じて来ます。

問題は又此に止まり、所謂炭量に対応しない増産投資の弊を防かうとすれば、どうしても上述の如き5000屯へ2500屯程度の増産しか期待出来ず、吾々はこれかその上限ではないかとさへ思つてゐるのであります。

以上別表出炭計画の作製内容について、貴方の基本的な考へ方の概要を説明申上げました。勿論これは原案的な考え方であります。然るに幾つか採炭要諦をすすめるやうになります。作製の進捗の進度よりしてその間に若干の弾力性(新炭掘削の時期、或いはその月別の数量等の若干の変更)を持たせて頂くたいと思つてあります。

出炭計画表在中

出炭計畫表

鑛區別	坑口名	可採炭量	32年												33年												34年												35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	備	考			
			10月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																			
日古鐵區	竹藪八尺坑	230,000			3,000								3,000							3,000	2,500					3,000					3,000		3,000		3,000		3,000														
	海軍八尺坑	12,000			2,000																																														
	三坑	4,000			1,000																																														
	杉谷二尺坑	68,000			500		1,500		3,000			2,000			5,000					2,800	2,200	1,800	1,500	1,000(中上)	所產量4種炭量																										
	二坑	74,000										1,500														1,500							1,500		1,500																
	計	388,000			6,500				6,500			7,000			8,000				7,300	7,300	6,800	6,200	5,800	5,500		4,500						4,500		4,500		3,000		3,000													
三井鐵區	竹藪八尺坑	90,000												100	200	200	800	800	1,700							2,300							2,300		2,300		2,300														
	杉谷二尺坑	207,000																																																	
	計	297,000													100	300	300	900	1,000	1,400	2,600	2,800	2,800				4,500						4,500		4,500		4,500		4,500		4,500										
合	計				6,500				6,500			7,000			8,000	8,200	8,300	8,300	8,200	8,300	8,300	8,300	8,900	9,200	9,200		9,000						9,000		9,000		7,500		7,500		4,500										
炭種別	有煙炭	日古鐵區			6,600				6,600			6,600			6,600				6,600	6,300	4,800	4,200	3,800	3,500		2,500							2,500		2,500		3,000		3,000												
		三井鐵區													100	200	200	800	800	1,700	2,300	2,300	2,300		2,300								2,300		2,300		2,300														
		計			6,600				6,600			6,600			6,600			6,600	6,300	4,800	4,200	3,800	3,500		2,500								4,800		4,800		5,300		5,300												
	無煙炭	日古鐵區			1,900				1,900			2,000			2,000				2,000	2,000	2,000	2,000	2,000		2,000								2,000		2,000																
		三井鐵區													100	100	100	200	200	300	800	800	800	1,600	1,600		2,200							2,200		2,200		2,200		4,500		4,500									
計				1,900				1,900			2,000			2,000			2,000	2,200	2,800	2,800	2,800	2,800		2,200									4,200		4,200		6,500		6,500												
三井納炭予思													800			1,800																	2,000		2,000		1,800		1,800												
													10,700														21,000							26,000		26,000		23,000		23,000		22,000		22,000		22,000		22,000			

